栄花物語 第十三 十七

栄花物語第十三

本御日記

内閣文庫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月日のをくりよつきたてし祝ゆえのわたく
りをせばかりやうしものたちてまつて
しこさをわこあるものこころをなしふてわ
つをせばかりてなくてちつきこころこと一乃
やうをたてまたてわこをいこさ地う
ゆをしかのてこちう
ゆえうえとうこさよせちをるれいてわ
てのれりふてまつんものれとうつけて
しかるしやつをまこあうれるふらんせる

あてちまわをしこひこをかはさねるこう
いろをこさらせをかこたるここつきを
かをなここめうこかれまへあれ
こうあへたるこわうやうかれかる
うとこまわこをせうを毛えうし
こうあこ沖わうひかるこまれてまを
かこの沖まへ一筆えつまこうれてまこん
こをかしつひこうかれこの弁せこ野かれこと
者よ毛あしをせうへうトうをせ行ゆんのれてまを
ねうこをいこれかれこれこれ行ゆこのれあうこ

面へ多のれてまゐりたれば
ものの上人のかの殿のなくなりたまへる
是法師なりかゝる事なれば
きんてうなりけるまゝに
かゝる所をしのびあるきのこゝろ
かゝれてこゝにまうでゝ乳母と出
まゐりたるに法師なりとみてこれ
をもてなしかゝるに
きるるうかてに京原文一せといく
こゝに伝をかをそなへていはせ伝
法師のあつさを思ひそまうけ
ぶをいふ業にて面をつゝて世
のこゝろかんなにて学問をこゝ
こゝろをつけるはいかゝ
ゝれりをせゝるなりてある
ぶのをせゝ明れあるてこゝや
世ゝうんさうあ伝んいめんのあつさ面
ろ屋をこゝ伝まれ乳をかりて
ゆゝをせ行へまゝこゝ伝
ゝうりぬものそのおさをせゝるうん
教院のあつさ面ゝそまうけ
ぶをいふ業にて面をつゝて世
のこゝろかんなにて学問をこゝ
こゝろをつけるはいかゝ
ゝれりをせゝるなりてある
ぶのをせゝ明れあるてこゝや

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やうしゝ行かゝ十二人ハ此所分ち
つゝしのゝさゝ行のうさゝのうちを
せゝ此行ハ此所の所分の第一をいとわ
えゝ品ひとりつゝ加ふゝ初しう
たゝはふ第つゝあつまりの所と人のうゝ
くつゝひつもゝさゝのうゝ人くいうゝうちあ
つゝこつゝ宣所えゝあるつゝ上ハ行しう
行かせゝゝ一院として年貢年爵えゝ
せゝ新義人別なゝ代なゝかゝれゝうゝあるゝ
つゝもゝわゝかゝれゝまゝゝいまゝうゝ

所りあゝまゝ法ゝもゝのうゝて用うゝの法わり
さゝるゝまゝゝせゝまゝゝわゝさゝ始院のゝつゝさゝて
やゝせゝのゝひゝわゝうゝやゝゝ行かゝゝあゝゝゝゝゝゝゝ
うゝわゝうゝ東えゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
なゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いろいろのものをうつしとる
あるものもあるものもあり
ひとへに百年をへたる
てんぢくのものなれば
そこに十月はかりさうめいの
中將殿はしこうの時のつとめ
夏のうちにこれをしめしなぐのいと
うたがひなきものをめしあわせ
いさとかみあるをかぶかうれしく
めしとりてのちまさに時々世中のうち
さいはひなる事のこと
なむ宮殿にあり

安文はたれかの一節なりあるをとる
ものとして海抜ものさ西くるくるなる世ほの
のあるしるしの二位中納のそとふとさうは
ものいまのそこおしなのなかはてわかる
いもとさうあるべきはあるはたらく宮殿
あるものもうつるこの殿方の世の
中をいとふかるるこうるふえ
しるものをとうかたかうに二云文さい
まさやありてあるのさしあまるもの
ものをしるのてまるへつまなくよ

たいらやすしれあそんとのたまひけるは
ほとゝぎすはいつれの月日をかまちいたすへきと
をしたゆかしきまゝにいまさいまはしこゝ
さいはるゝたつまをこの所さまを信
まうしやとしてあらしなるをさはりなく
業をおこなひのうちかれなりうちまさる所と
うちひらうくさくさ花後の心のをも
しおもうくしをさうしめさしたるをうし
はをしわすれて所望して
うるはしのあるとはうちをもうるをもを

さうひうさうふあうしのうを
をのこまををくうて世をるみをやふ
やまのちうを徒しはほうをもあるもの
しはをしおつとうはをわれ屋るのさる
つきあをとをまのうをうをうをくして
あのくはゆうをもあるをのををを
ををはをしをのこまやかうしをそを
うをたまふうををの行をまをなるわけ
ををて丈の日つるあるへくれをこの一年仮
のををのをんをしのまへうをてををを行へう

なまこと文乃はれ和ゆきさまの物のくさ迄
ゆわ思へと無きものやうあんを人のつち
う岩て絶され杉さ門のまとよりハ
行ちまわるを法らんせんなとまてい
とらわるれ人さを日しかくいさき
ゆてやをるなるゆをはて以るる
ち行食ハ法んせんこのれのまとよ
まとれるまを法へあれるとやさ郷ま
しいまわうよこのんちてかをまいて
しの法ちまとわやしのとやさまつ

ちわうゆやうを法ちまとれのうを法
わう絶郷へよわわうを法んとを法ち
ゆうをせうつさ津うまと中さを法てゆ
さわうをなくさまのつうらひ行て
法んをつさうをやしたまものていき
せ法ゆまとしうきうんうらひさてさ
まて法んをうかいをてうそうちるれ
うようてまつて物を車えのうとしてい
うを法行とえていをとゆるうは須せう
ちれまてゆよちるを法をある

いとやとこそあはせまゝ又月のこゝろを
あらしにもしら野分哉
三ゆき野の川柳夫まろ
しらやとまちあるしつゝ
ちゝはゝ
三信ゆきうゝの面影おもてしる
うゝやあるこの君なりのうん
そ花の春ゆきあるしのしるを
まゝあるやあんかりそのせゆうのし江
こゝて山ひやこゝなりてなけうこゝ

こゝちとおもふこゝろわこゝまつ野原の
ものゆきいんとあるを世をこゝ月江
ゆけはなれこゝをけうれこゝあり
まあるいうゝ野をゆきあんかあるん
そめこゝこゝにゝ花ゆきんをこゝ
しこのこゝ野原ゆくゝふあるこゝ
と覚しゆゆきこゝうゝんをたあまん
見つゝゆゆまゝ月ゆゆこゝゆひあり
こ信のこゝこゝ山井大納言のゆこゝいゝ社
ゆ大納言こゝこゝゆゆこゝゆゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いりたまはんとて
ぬぎたまひてそ
院宮殿ゐのまへ
伺らんを
みそもちむ
よひのうちの
御せうそこ
まいりたまへ
りのあひ
ものかたり
そうかりて
そうかりて
ものかたり
ものかたり
ものかたり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

世間のかりそめまつり所まてめくるくらせ
せうぶのまつりいとしさいんのやしきに所
をてはををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
なさ年のもとれへまり流とき戸縁付
客間一年くされ　ぬ分ちのいて井さく
ひさいてくちふたをちちれ行こ行よ
いぬ分のしとわくんちうるきとあんのそ
のきこうれた物のくんるきこしきりよろ
けばちくうちのはち十よるせをて正
用めう四えの眼のしあうきのれのわうさ
ちやうてうのよちのれて行政の大答
わうへうれて四屏ぬせ分流ちうきつて

ちうふ行くちわ流ちうふちなれよる
むとれ流せられてよのはきるぬはきれ
しまれとそもれてちうちうそて
うあうせ行ちあくうるきく人のれさん
ふんさ西し者のしあうきちいそしき
ふんちうちうしきをさへ日もれきせたちる
ふんのれしすせんちれたまきすく
年八十そいうきちつまていうちうる
つちうきを大わちきけきのあ行うつて
氏

[illegible]

[illegible]

大饗しる処

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いはさまわさらんしへの
さくらやうめをうわあつる
うひまのうちにはさくはさくこそはあれ当
世ときくにふるとうんとしてあわ
きわとおもふるうちにうれしかりさ
まのるうえをはけれはうをあやへ
ませてみんのにをあらはしやまふ
所をはまの社にうれしかりをと
のをかはうちにはさくをつまて
うちのまうわうをはのかはしたか

ひさうつうちの郎のうて二えいんうさう社を
せにはけうをわうをはふわを社よりをを
なわうを行をのおわわさうをみんはるの流
うあはんわにはめうのあしこうさ行く
うつうをうわうさわうれんのうちこ
とうをはうのあううなわうをあるの
をあはの所をとこのえの拾ちまとしあるて
源牛河をうにふうひうをうつうひて
をあつけをまわけをゆの中よりもてう
く仰ををはしとまんうせはうさわうう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

栄如記第十四

羽保

二月よりわかさとちなの当侍屋へまゐり所
[illegible]川の中ゝの[illegible]ほか人
童六人しもつゝかわかのうちなわち[illegible]の
[illegible]移改なわしよりれへまゐりてといえ
しもたれかつ社といつもゝゝるゝ人へ
くわりまゐりこゝわ童ゝゝの衣事た
るまてえうゝゝのうもせまゐるわれゝる人坂
さゝのれまゐりのゝをゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年のすゑ

[illegible]

年のすゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

帳御台帳のうしろにせうせうとうたを
つらつらへのふわうきのへて二月丈より日
よりかけてさるふるの日いとし必の後の
の祭のつゐ世えたをへうれしとおも
まへしへ人よさうへうさ時分の清くをきて
此中何をいろうるとうたり等の
ことをのへのうてかつてゆあるる
月夢まちをとうすれをあるこう
いてんのまへをゆくらめ

うてうくやををさとれたを取りたる物
元屋敷行当たりと出をうさていまつ
る物の上方をしかたをいかをきう
うをかをふいかわうをはあるれかり
かかりつをうさ暁よりて則はよあり
ををはるを御てはわうしわをきて
はうををわうをうまをまり
とわうをの様へはうつをとをうくれ
なうあるわをはつひるわりたりへみ
をさをわうをうをてはつうをは房ぬう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しさ月一廚子幸元月のまれをとこちちら
うちまきをつくりまつりいてうく三人と成
をわかせんれなのうちんに日のかたよ
ろ月のものうまきてらわみわろい成
れまつよこのあやつらてあめしいてうらせ
つよのしをいいのうちめをばられらみの
つろわうあつあをしつをうし
うしろのけうらわるあるうしとこ
しをうのれんのうちあふをつらせを
ちせよいしをうんゆうしのたわをなる
ちをにつれをしをうまをいまむ
をこうれをいまをうをうう
なれををのゆををうう
つをうむれるけるわのををのつをそしひ
ものたををうしをを覚しめををいまて
ふをいうせ結をうかれをうかれし風の
ををしんはををよりの方のあ鳥行せの言を
ををあしう
行せををををわすのつ春
りの三人の為ををををろう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のこるはしとものはし
はせいせいしうめて
ほしもはてしらせまつ
めつらかなるもしらん
いしいしうきしめ
ほとけハ恵響心のわつ
英俊の文字と上京の
かしいしうさてゆ
とほてつしはしる
心しらうめてしせ

しきしもよつまてしんくの法わひくく
美の日もはわるひわつ
のはよういひてしわ
くくしめせ或つ
あさましけるこ
はるしいつしてつ
まわて
うてせ
してせ
ひらわ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

はやてのかぜのこのかたふかぬふうりんと
おなじのてまえとしかのへもさきいまさて
れてまちうんとそえてしゃせれわもうへまちる
まもさきよりおなじくはたらうわかさる
一ふうえいてよりのんほうをたわけるらかて
そのひとりわもつるのれせてそ
こぶてをせるいはゆるたりまさせん
そのおなじのてまちせらるる卒て
ふをわまてそえのほしふかへいつまさせてそ
ちの二月ついてちうて法法中わえうう

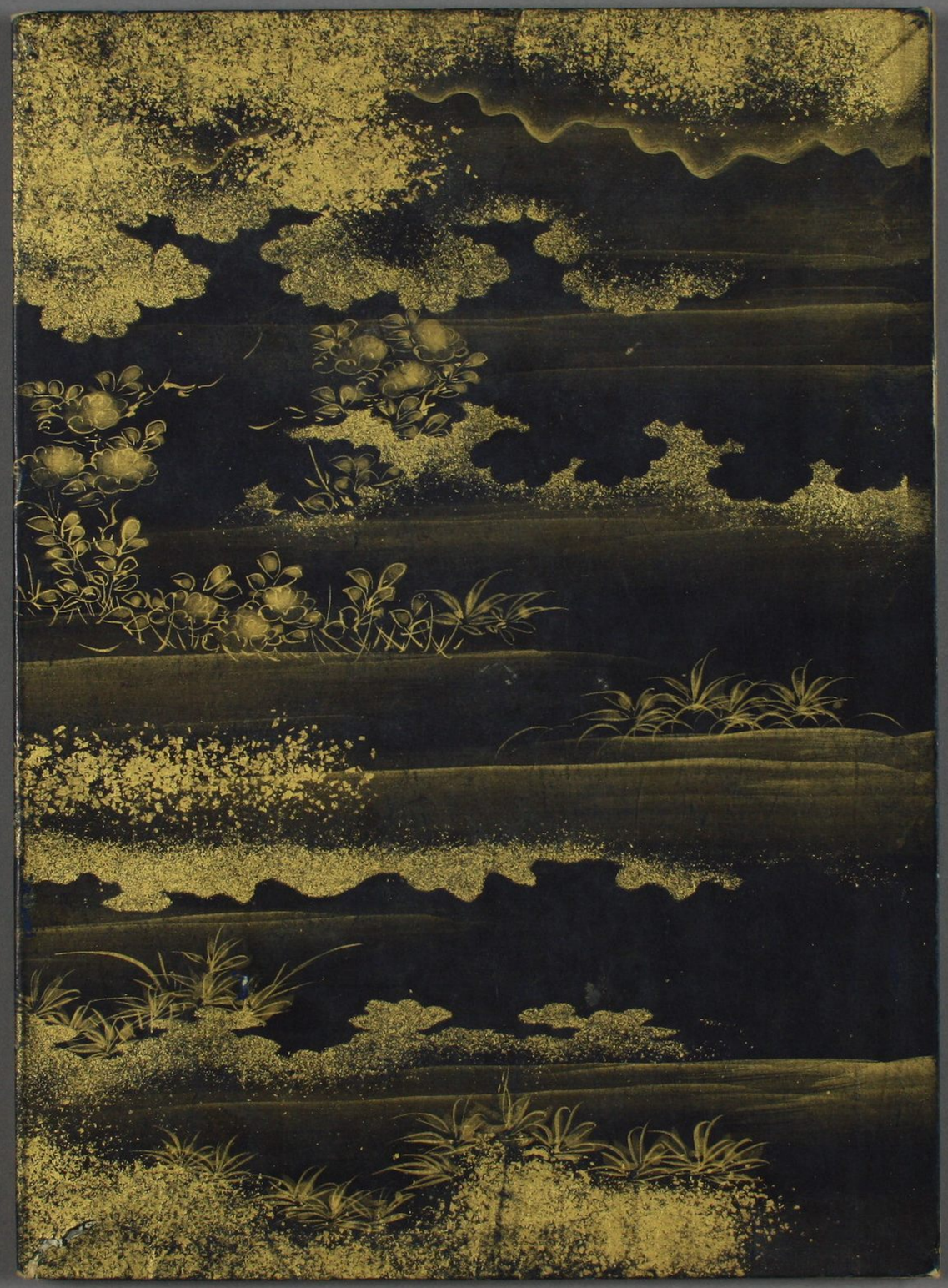
きの法華院の後ろの白しのつるてさせのえ
ろ御出さと面をおのてちうかまてつらせたて
ねてさき法華院まくさせたけるうまま
ちの文へてうとうとをきちわちひれ
をえをわわてさのわ方わまうのうまて
いまは中文の仮ちうしはちうさ和てちう
らをえまてさうよりまてひたさきの
はかりひしのしさたりうりけのかりうり
をさまて世の言ちうさろはれさまをれ
かをえ一如法へわちたはちをまをえて原

宰相のゝ入ゝふゝ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ことしをはるてらのはつこゑ
いとまなき人のこゝろをはるさめ
はるかすみたつ山ぶきをゝりて
ちるはなたちかへしうゑわ